



ともしびは世界中に配信され多くの人々の心に安らぎをもたらせました



発行所
比叡山時報社
〒520-0116 大津市坂本本町4220
電話 077-578-0001
077-578-0116
09970-2-9732
宗教法人延暦寺事務所
定価 1部110円 年1200円

延暦寺広報

叡山講福聚教会

会報

年会費(3000円)中
に会報(比叡山時報)
購読料を含む。

令和2年比叡山から
発信する言葉
「不憚」
一々の労を惜しまず



こちらから

ご購読は

全都道府県の新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が5月25日に解除されました。それから一カ月余り経ち、再びコロナ感染が拡がり7月3日には東京都の感染者は124人を数えるまでとなりました。いま私たちはコロナ以前の元の日常を追憶しつつ、動き出した「コロナの時代の新たな日常」を探る真ただ中にいます。

緊急事態宣言は解除されましたが、新たな感染症と共生することが余儀なくされた私たちは、これからも一人ひとりが慎重な行動を続け、試行錯誤のなかから「新しい生活様式」を導き出さねばなりません。その指標として、専門家の会議は、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い、3密の回避、働き方も、テレワーク(離れた場所で働く)、時差通勤、オンライン会議等を示しました。

同時に、我々は元に戻るのか、との不安が頭をよぎります。価値観の大きな変化がやってくるのか。新たな日常は、まさに戻ることのできない所に留まってしまうのではないか。コロナの災禍が終息したあとも、例えば、直接会わなくても、そこへ足を運ばなくても、マスク越しで表情がわからなくても、物事が進んでいく。そういうことが当たり前、平気になってしまっているのではないか。今まで進んできた変化が加速され全く異なる世界になるのだとの指摘もあります。

根本中堂の不滅の法灯(ともしび)がそのまま24時間ネット上で生中継され、多くの人たちがそれをご覧になりました。(7月1日配信終了)中には、かなり長時間、身近に灯しておかれる方も多かったようです。実際の根本中堂で、灯をこの距離でご覧頂くことは無理ですが、レンズを通して届けられたこの映像はまさに同時進行の事実、現実の不滅の灯です。だから炎の揺らぎに見入ってしまうのです。まさに一千二百年という時間とその間に込められた思いに心打たれるのでしょう。

大きな災禍は人々の生活や考え方に大きな変化をもたらします。災禍を繰り返さないためには必要な変化であり、進歩がなければなりません。しかし私たちに、受け継いできた変わらぬ価値も厳に存在しています。その価値は歴史を経験してきた幾多の非常事態にも変わることなく、伝えられてきたものです。これらをこれからも護り伝えていくことも我々の大事な務めであると考えます。

(延暦寺執行 禪定院寂芳)

変わらぬ価値、護り伝える灯火